

令和元年（2019年）7月3日
建設委員会資料
都市基盤部道路課

中野区無電柱化推進計画（素案）意見交換会の結果について

平成31年3月25・26日に開催した中野区無電柱化推進計画（素案）に係る意見交換会の結果を取りまとめたので報告する。

1 開催状況

- ・日時：①平成31年3月25日 月曜日 午後7時～午後8時
②平成31年3月26日 火曜日 午前10時～午前11時20分
- ・会場：①中野区役所 1階特別集会室
②中野区役所 7階第10会議室
- ・参加者数：①3名
②6名
- ・説明内容：「中野区無電柱化推進計画（素案）」について

2 主な意見と区の考え方

区民等からの意見・要望	区の考え方
私道も推進計画の対象となるのか。	推進計画の対象は区道である。
無電柱化の整備手法の1つに要請者負担方式とあるが、住民から要請すれば生活道路でも無電柱化してくれるということなのか。	要請者負担方式とは、無電柱化の効果が低い路線で、開発業者や地元等からの要望を受けて無電柱化することである。 費用は原則として要請者の負担となる。
無電柱化の整備手法には様々な方式があるとのことだが、路線ごとに手法を変えるのか。	基本的には、「電線共同溝方式」による無電柱化と考えている。
無電柱化は、区と東京電力、NTTの企業者が一緒に行う事業なのか。	そのとおりである。

<p>セットバックしたところに電柱が残っている箇所があるが、どういうことか。</p>	<p>電柱の所有者である東京電力やN T Tによる移設工事の順番待ちや移設先の土地所有者様の同意が得られていない可能性が考えられる。</p>
<p>本計画の期間は2019年から2028年までの10年とあるが、いずれは生活道路についても無電柱化されるということか。</p>	<p>昨年度に策定した「中野区無電柱化推進方針」において全区道が無電柱化の対象路線としているが、まずは歩道が設置されている幅員の広い道路や、新設道路において無電柱化を進めていく予定である。 ここで得られる施工経験や今後開発される新技術等を考慮しながら、生活道路の無電柱化について検討を進めていきたいと考えている。</p>
<p>無電柱化には多額の予算が必要と考えるが、どのくらい必要なのか。また、その財源はどうする予定なのか。</p>	<p>概算になるが、一般的に1 kmあたり5.3億円必要である。優先整備路線8.4 kmでは、道路管理者が29.3億円、電線管理者が15.1億円、全体で約45億円となる。国費や都費の補助金を活用し、必要な財源の確保に努める。</p>

3 今後の予定

国等が実施する最新の補助事業制度や多様な手法を網羅した形で「中野区無電柱化推進計画」(案)を取りまとめる。

令和元年 8月頃	「中野区無電柱化推進計画」(案)取りまとめ
令和元年 9月頃	パブリック・コメント手続
令和元年 11月頃	「中野区無電柱化推進計画」決定